

俳都松山 宣言

約150年前に松山に生まれた正岡子規。彼が興した俳句革新運動は、様々な個性に彩られた子規山脈を築き、今や俳句は、日本の誇る最短詩として世界の人々を魅了しています。そして、この松山の地から起こった俳句甲子園は、現代の若者たちに俳句の多様性を示し、新たな教育的価値を創造し、若き俳人を生み出し続けています。

俳句に親しみ、俳句を楽しみ、俳句を愛するまちとしての誇りと、俳句の可能性を広めゆく俳都としての意識を新たにした今日、私たちはここに胸を張って「俳都松山」を名乗ります。広く豊かな裾野が育ってこそ、高く美しい山が生まれるのだという信念を掲げ、俳句を楽しみ尽くす好奇心をエネルギーとした正岡子規の革新精神を受け継ぎ、世界へ向かって、百年後の未来へ向かって、俳句の風を絶やさず起こし続けることをここに宣言いたします。

平成26年8月25日

松山市長 野志克仁